

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月10日

上場会社名 ムーンバット株式会社

上場取引所 大

コード番号 8115 URL <http://www.moonbat.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役・社長執行役員 (氏名) 中野 誠一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役・常務執行役員 管理本部長 (氏名) 今村 京一

TEL 075-361-0381

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	7,404	△5.1	560	△8.5	550	△5.5	313	△11.4
21年3月期第2四半期	7,801	10.6	612	34.7	582	69.2	354	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	11.79	—
21年3月期第2四半期	13.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	12,696	5,872	46.3	220.68
21年3月期	12,479	5,681	45.5	213.46

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 5,872百万円 21年3月期 5,681百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	4.00	4.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,800	△8.7	760	△37.6	740	△36.7	420	△19.2	15.78

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無
 (注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表】 4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第2四半期 | 26,708,668株 | 21年3月期 | 26,708,668株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第2四半期 | 96,435株 | 21年3月期 | 91,812株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第2四半期 | 26,613,470株 | 21年3月期第2四半期 | 26,625,963株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、昨年秋以降の世界的な金融危機と景気停滞局面の中で一部には持ち直しの動きが見られるものの、企業収益や雇用情勢等の先行き不透明感が引続き根強く、個人消費も冷え込んだままであり、いまだ本格的な景気回復は厳しい状況となっております。当社グループの主要販売先である百貨店及びチェーンストアの売上高も消費マインドの冷え込みにより、引続き厳しい状況が続いております。

このような環境下、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、74億4百万円と前年同四半期比5.1%の減収となりました。主因といたしましては、高額品に対する消費マインドの冷え込みを背景に宝飾品等の衣服装飾品が引続き低迷したこと、天候不順により洋傘・パラソル・レイングッズの販売が不振であったこと、トレンドとして注目の首周りアイテムであるストール等の洋品の販売が後半になって勢いが失速したこと等であり、同業者が昨年に経営破綻し市場から退場した影響により大幅なシェア拡大となりました帽子の販売は大変好調に推移いたしました。他の商材の販売不振分を補いきれず、全体として前年同四半期を下回りました。

損益面では、粗利益率を改善し、また円高による仕入コスト低下等もありましたが、減収要因や返品調整引当金の96百万円積増等の収益押し下げ要因を補いきれなかったことから、営業利益は5億60百万円（前年同四半期比8.5%減）、経常利益は5億50百万円（前年同四半期比5.5%減）、四半期純利益は3億13百万円（前年同四半期比11.4%減）となりました。

なお、事業部門別の状況は次のとおりであります。

衣服装飾品（毛皮・宝飾品部門）につきましては、毛皮市場は、引続き毛皮素材が注目されているものの、高額品への需要は大きく落ち込んでおります。その中で当社グループは、「ミラ・ショーン」や「リナージオ」ブランドの商品等にて他社との差別化を進めてまいりましたが、高額品受注不振の影響は大きく、売上高は伸び悩みました。

宝飾品市場は、毛皮市場と同様、高額品への消費マインドの冷え込みは厳しいものとなりました。その中で当社グループは、「ミラ・ショーン」ブランドにて積極的に提案いたしましたものの、売上高は大きく伸び悩みました。

その結果、売上高は8億40百万円（前年同四半期比10.3%減）、営業利益は66百万円（前年同四半期比43.5%増）となりました。

次に身回り品（洋傘・洋品・帽子部門）につきましては、洋傘・パラソル・レイングッズ市場は、後半においても引続き、はっきりとしない不安定な天候の影響で、どの商材にも勢いが回復いたしませんでした。その中で当社グループは、業界のトップ企業として市場への新鮮な商品企画の提案を行うなど販売力強化に努めましたが、売上高は伸び悩みました。また、生地・骨・手元（ハンドル）が簡単に分解でき、分別ごみとしての廃棄や、パーツのリサイクル、修理の期間短縮も図れる、世界初の環境配慮エコフレンドリー設計傘「エコ・デ」を開発し、平成21年6月より、百貨店の店頭での販売を開始させていただいております。今後ともさらなる商品開発提案の充実を図ってまいります。

洋品市場では、首周りアイテムとしてのトレンドは根強く堅調に推移していたものの、秋冬物の立ち上がり時期である8～9月にかけて、マーケットの勢いが失速いたしました。その中で当社グループの売上高も、若干ながら前年同四半期を下回りました。

帽子市場では、若年層を中心に専門店やアパレルショップ等での比較的安価な中折型商品が人気を集める等、話題性はありましたものの、百貨店では前年同四半期の売上げを下回るマーケットとなりました。その中で当社グループは、同業者が昨年に経営破綻し市場から退場した影響や、人気ブランド「ヘレン・カミンスキー」の店頭販売を前年度第4四半期から開始したこと等により、新規の流通チャネルとの取引も獲得でき、当社の展開店舗数が大幅に増加いたしました。主要販売先である百貨店における当社販売シェアは大幅に上昇し、売上高も前年同四半期を大きく上回りました。

その結果、売上高は65億64百万円（前年同四半期比4.4%減）、営業利益は6億20百万円（前年同四半期比10.2%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ2億16百万円増加して126億96百万円となりました。この主な要因は、たな卸資産が3億56百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が3億54百万円減少したこと、仮払消費税が3億10百万円増加したこと等によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ25百万円増加して68億24百万円となりました。この主な要因は、仮受消費税が3億77百万円増加したこと、未払法人税等が2億22百万円減少したこと、支払手形及び買掛金が2億10百万円減少したこと、返品調整引当金が96百万円増加したこと等によるものです。また、純資産合計は、前連結会計年度末と比べ1億91百万円増加して58億72百万円となりました。この主な要因は、四半期純利益を3億13百万円計上し

たこと、配当にて1億5百万円支払いをしたこと等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済情勢につきましては、本格的な景気回復にはまだ時間がかかる見込みであり、個人消費マインドは引き続き厳しい状況が続くものと思われます。また、天候要因に大きく影響を受ける秋冬物や防寒対応商品等の季節商材の販売には不透明感があること等も懸念されます。

同業者が昨年に経営破綻し市場から退場した影響により大幅なシェア拡大となりました帽子的販売は今後も堅調に推移するものと思われますが、帽子商材だけでは他の商材の落ち込み分を補いきれないこと等を勘案し、通期の連結業績予想につきまして次のとおり修正いたしました。

(通期業績予想)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	15,100	1,160	1,085	640	24.05
今回発表予想 (B)	13,800	760	740	420	15.78
増減額 (B-A)	△1,300	△400	△345	△220	—
増減率 (%)	△8.6	△34.5	△31.8	△34.4	—
前期実績 (平成21年3月期)	15,121	1,216	1,168	519	19.51

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 法人税等の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、減価償却費の年額を期間按分する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	941,379	1,091,247
受取手形及び売掛金	2,773,659	3,128,201
商品及び製品	3,358,908	2,994,432
仕掛品	19,184	31,447
原材料及び貯蔵品	94,106	89,417
その他	830,952	363,226
貸倒引当金	△126,263	△73,338
流動資産合計	7,891,928	7,624,634
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,013,633	2,294,973
その他(純額)	489,683	644,429
有形固定資産合計	2,503,316	2,939,402
無形固定資産		
のれん	95,000	114,000
その他	63,944	38,722
無形固定資産合計	158,944	152,722
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,350,360	1,356,135
投資不動産(純額)	427,807	—
その他	451,364	499,980
貸倒引当金	△90,683	△100,071
投資その他の資産合計	2,138,849	1,756,045
固定資産合計	4,801,110	4,848,169
繰延資産	3,888	7,190
資産合計	12,696,927	12,479,994
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,006,866	2,217,460
短期借入金	659,070	112,220
1年内償還予定の社債	425,000	850,000
未払法人税等	303,935	526,777
賞与引当金	126,620	116,600
返品調整引当金	243,100	146,600
その他	694,580	380,885
流動負債合計	4,459,172	4,350,543
固定負債		
社債	200,000	200,000
長期借入金	1,659,899	1,775,309
退職給付引当金	295,988	281,688
役員退職慰労引当金	—	183,940
その他	209,000	6,916
固定負債合計	2,364,888	2,447,854

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債合計	6,824,060	6,798,398
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,339,794	3,339,794
資本剰余金	1,039,578	1,039,578
利益剰余金	1,521,769	1,314,551
自己株式	△12,442	△11,874
株主資本合計	5,888,699	5,682,050
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△974	△1,596
繰延ヘッジ損益	△3,908	16,150
為替換算調整勘定	△10,950	△15,008
評価・換算差額等合計	△15,833	△454
純資産合計	5,872,866	5,681,596
負債純資産合計	12,696,927	12,479,994

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	7,801,501	7,404,250
売上原価	4,588,890	4,114,360
売上総利益	3,212,611	3,289,890
返品調整引当金戻入額	118,700	146,600
返品調整引当金繰入額	145,400	243,100
差引売上総利益	3,185,911	3,193,390
販売費及び一般管理費	2,572,919	2,632,414
営業利益	612,992	560,975
営業外収益		
受取利息	5,895	3,722
受取配当金	32	56
為替差益	35,569	37,337
不動産賃貸料	21,269	24,746
その他	11,825	2,965
営業外収益合計	74,592	68,828
営業外費用		
支払利息	49,717	26,092
貸与資産賃借料	31,800	31,800
その他	23,821	21,520
営業外費用合計	105,338	79,412
経常利益	582,245	550,391
特別利益		
固定資産売却益	168,970	—
その他	17,295	—
特別利益合計	186,266	—
特別損失		
たな卸資産評価損	123,057	—
その他	9,486	—
特別損失合計	132,543	—
税金等調整前四半期純利益	635,967	550,391
法人税、住民税及び事業税	303,591	269,379
法人税等調整額	△21,795	△32,672
法人税等合計	281,795	236,706
四半期純利益	354,172	313,684

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	635,967	550,391
減価償却費	30,592	30,534
のれん償却額	32,125	19,000
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	26,700	96,500
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△5,449	14,222
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△5,867	△183,940
賞与引当金の増減額 (△は減少)	39,465	10,020
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,295	43,536
受取利息及び受取配当金	△5,927	△3,779
支払利息	49,717	26,092
固定資産売却損益 (△は益)	△168,970	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△37,454	359,291
たな卸資産の増減額 (△は増加)	163,107	△356,476
仕入債務の増減額 (△は減少)	428,748	△214,524
未払消費税等の増減額 (△は減少)	69,307	6,125
その他	△35,750	115,868
小計	1,214,016	512,862
利息及び配当金の受取額	5,949	3,700
利息の支払額	△43,569	△25,910
法人税等の支払額	△171,874	△490,209
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,004,522	442
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△459,500	—
定期預金の払戻による収入	125,000	—
有形固定資産の取得による支出	△15,115	△8,345
有形固定資産の売却による収入	1,970,925	—
敷金の差入による支出	△21,560	△26,744
差入保証金の回収による収入	—	24,861
貸付けによる支出	△239,229	△58,628
貸付金の回収による収入	57,108	33,026
その他	8,040	△14,821
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,425,670	△50,651
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△849,739	393,000
長期借入れによる収入	200,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△1,410,661	△261,560
社債の償還による支出	△125,000	△425,000
自己株式の取得による支出	△553	△568
配当金の支払額	△53,256	△105,649
その他	△2,840	△2,591
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,242,050	△102,368
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,838	2,709
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	183,304	△149,868
現金及び現金同等物の期首残高	1,463,029	1,091,247
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,646,333	941,379

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

・前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	衣服装飾品 (千円)	身回り品 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
外部顧客に対する売上高	936,959	6,864,542	7,801,501	—	7,801,501
計	936,959	6,864,542	7,801,501	—	7,801,501
営業利益	46,405	691,206	737,611	(124,619)	612,992

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	衣服装飾品 (千円)	身回り品 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
外部顧客に対する売上高	840,008	6,564,242	7,404,250	—	7,404,250
計	840,008	6,564,242	7,404,250	—	7,404,250
営業利益	66,569	620,936	687,505	(126,529)	560,975

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	日本 (千円)	中国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	7,660,908	140,593	7,801,501	—	7,801,501
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,001,346	1,001,346	(1,001,346)	—
計	7,660,908	1,141,939	8,802,848	(1,001,346)	7,801,501
営業利益	598,427	18,125	616,553	(3,561)	612,992

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	日本 (千円)	中国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	7,269,161	135,089	7,404,250	—	7,404,250
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,019,572	1,019,572	(1,019,572)	—
計	7,269,161	1,154,661	8,423,823	(1,019,572)	7,404,250
営業利益	536,581	28,547	565,128	(4,152)	560,975

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。